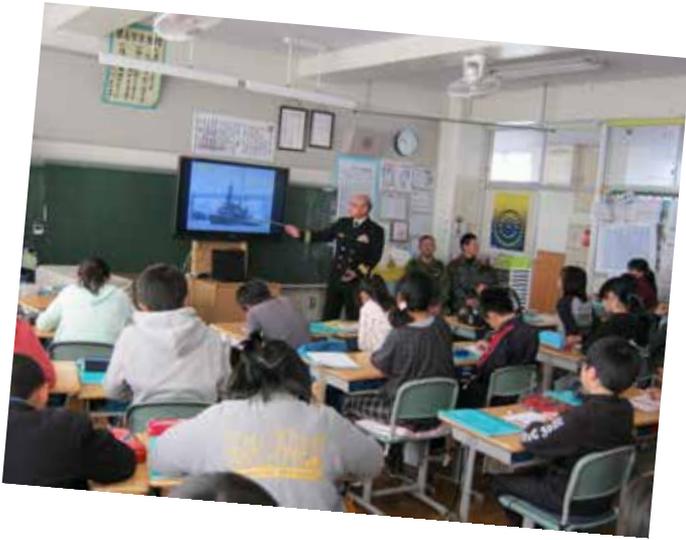


## 瑞木小学校総合的な学習の時間で自衛隊の仕事をPR（埼玉）



埼玉地本（本部長・山本方之1等空佐）は、11月27日（水）、埼玉県三郷市立瑞木小学校において、総合的な学習の授業の一環で「自衛隊の仕事について学ぶ」を題材に授業が実施された。

対象者は6年生32名（男子17名・女子15名）と教職員3名で、「平和を仕事にする自衛隊」について、講義を実施、その際服装も考え、海上自衛隊の所長は、制服、陸上自衛官は、迷彩柄の作業服、航空自衛官は、デジタル迷彩柄の作業服、女性自衛官は、陸上自衛隊の制服と、陸・海・空、それぞれのユニフォームで授業に参加し、子供たちの興味を引くよう工夫した。中でも陸上自衛隊の迷彩服の背中が草木等をさせる構造になっているのを見せたときにはクラス中が沸いた。



自衛隊は「オールラウンド自己完結型の組織」であるという説明には、「自衛隊の中で、女の子の活躍の場・働ける職種はどれだけありますか?」と、女子生徒の中から質問が挙がるなど、自衛隊を「将来の職業の1つ」と、考えている子がいたことに深い感銘を受けた。授業の終盤には、自衛官の挨拶として、「拳手の敬礼」を実演、生徒も脱帽時でしたが拳手の敬礼を元氣よく楽しく実施していた。



学校側から「自衛隊の匍匐前進を見せてあげられませんか?」と要望があり、広報官たちは第1〜第5匍匐を展示してみせた。実際にやってみようと立候補する子がたくさん出て、匍匐の競争が始まるなど、授業は終始子供たちの笑いが絶えなかった。

今回の小学校での授業を通し、自衛隊での仕事と隊員の普段の生活を知っていただくのに、大きな成果を得た。今後も学校等の授業、講演の依頼に対し、積極的に取り組み、自衛隊、自衛官のアピールも含め、募集基盤の強化につなげていきたいと考えている。